

1. 担当教員：太田 俊

2. 課題名：再生可能エネルギーを利用して青森県産食材を生産するためのアンモニア合成用錯体触媒の開発

3. 概要： 肥料の原料となるアンモニアは、大量の食料を安定に供給する上で欠かせない重要な化合物である。しかしその製造には、化石燃料由来のエネルギーが莫大に投入されている。

一方青森県は、風力や地熱等由来の再生可能エネルギーに対して高いポテンシャルを有している。この青森県の強みを利用してアンモニア合成を達成できれば、青森県産食材を環境に調和した形で供給することが可能となる。そこで本研究では、この構想の実現を可能とする新規錯体触媒を開発する。

本研究は、アンモニアを介して青森県の再生可能エネルギーと青森県産食材の生産とを連結させるものと位置付けることができ、この活動は「エネルギーの地産地消」と呼べる。したがって「エネルギーの地産地消」を実践する日本初の都道府県として「環境先進県 青森」という新しいブランドイメージの構築に資するものである。

4. 参考資料：

青森県の再生可能エネルギーを利用して青森県産食材を生産するための構想図

